

～第3回委員会

市の
上位計画

市民ニーズ
市民アンケート
調査

市役所周辺地区の
ニーズ

まちづくりの課題

商業や業務機能
の強化

子育て支援や
高齢者等の生活
支援機能、医療
施設の充実

文化・芸術機能
の強化

憩い・交流の場
の充実

交通環境の改善

基本的理念

(仮称)
新たな賑わいの創出

庁舎跡地等の活用の方向性

◆子育てや高齢者の暮らしを支える拠点づくり

◆人や文化を育む拠点づくり

◆憩い・交流できる広場づくり

◆日常的な来街者(働く人・学ぶ人)を増やす機能の導入

◆交通機能の拠点づくり

【検証①】
アンケートで期待されている施設の配置状況
《資料3》

- ・子ども関連施設
- ・高齢者福祉施設、高齢者入所施設
- ・医療施設

- ・文化・芸術施設

- ・公園・広場

- ・交通機能

「賑わい」のイメージの検証と定義付け

【検証②】
活用の方向性における「賑わい」の将来像の検証

【これまでの委員会での意見】

- 〈活用の方向性を考える切り口〉
- 広域対象か中心市街地対象か
 - 将来的に市民にとって必要な機能
 - 中心市街地のまちづくりの方向性に沿った活用

- ・高齢者入所施設ではなく生涯学習で高齢者も子どもも集える場
- ・幼児から青少年、専門学校生まですべての世代の子どもが交流し、活躍できる場
- ・老若男女のさまざまな人が集えるような場

- ・アートや自然など心の豊かさを満たす文化や憩いの場
- ・インパクトのある文化機能 (ex. プラネタリウム・鉄道ジオラマ等)

- ・現在と同じような人の流れがあること
- ・ダイナミックに人が行き交うような賑わいや交流

- ・利用者が自発的に活動できるような場 (ex. せんだいメディアテーク)
- ・つくる過程で人を巻き込めるような施設

【賑わいの例示】
「新たな賑わい」の将来像を考える事例集
《資料4》

【事例1】
子どもとその保護者が多数集まり、交流する賑わい

【事例2】
様々な文化活動を行う人、活動を支える人、観賞する人が集まり、交流する賑わい

【事例3】
イベントに参加する人々の交流で、新たな活動が生み出される賑わい

【事例4】
働く人・学ぶ人の交流で新たな人材や文化が生み出される賑わい

跡地活用における『賑わい』のイメージ検討と活用の方向性と定義付け

〈活用への取り組み〉

- ・広場や中町第三庁舎を活用して、暫定的にソフト事業を実施して実績を積み重ね、軌道に乗った事業に応じたハードを整備する仕掛け
- ・バザーが開ける場所等をつくりイベントを開催しながら活用に至るプロセスのなかで市民を巻き込んでいく仕掛け

- ・施設をつくる過程で周辺住民など人を巻き込めるようなプロセス